

学校だより

11月号

港区立白金小学校

発行人 加納 一好

平成二十九年十月三十一日



オリンピック・パラリンピック教育の推進

校長 加納 一好

木々の葉も色づき、秋も深まってまいりました。

まずはおもしろいお知らせからです。合唱団が昨年に引き続き、NHK全国学校音楽コンクール全国コンクールで銀賞を受賞しました。応援ありがとうございました。練習時間に制約がある中で、全国二位は立派です。朝会では陸上クラブとともに表彰しました。陸上クラブも大勢が大会でいい成績を残しました。また、先日の連合運動会でも六年生が素晴らしい活躍を見せました。

さて、東京都では二〇二〇年の東京オリンピック・パラリンピックに向けた教育を推進しています。本校でも先日の学校公開でパラリンピアンの方をお呼びしました。六年生は短距離の多川知希選手をお呼びしました。多川選手はリオのパラリンピックに出場し、上肢切断クラスの四×百メートルリレーで銅メダルをとられた方です。五年生は高田千明選手をお呼びしました。高田選手は全盲クラスの走り幅跳びと百メートルの日本記録保持者で、今年ロンドンで行われた世界パラリンピック陸上の走り幅跳びで銀メダルをとりました。リオのパラリンピックにも出場しています。

今、五年生に、どうしたらオリンピック・パラリンピックへの気運が盛り上がるかを考えさせています。その企画(学習)も進んでいるようです。高田選手から学んだことも、企画に生かしてくれることでしょう。

また、東京都では「世界ともだちプロジェクト」を進めています。これは一つの学校が五つの国を応援するという取組で、本校は中国、エストニア、英領バージン諸島、エチオピア、サモアを応援します。この五カ国については保健委員会調べています。五カ国についての発表の後、給食でこの五カ国の料理を食べることができるともありません。

パラリンピックに出場した選手がみえた、銀メダルや銅メダルを見せてもらった、すごいということだけでなく、オリンピックやパラリンピックについての学習を様々な教育活動に関連させ継続して行うことで、東京オリンピック・パラリンピックへの機運を高めて、子供たちの人生の中の貴重な経験になるようにしていきたいと考えています。

先日の学校公開日には雨にもかかわらず、大勢の方にご来校いただきました。ありがとうございます。次は音楽会です。子供たちの勇姿をまたお見せできることと思います。演奏は仕上がってきています。あと二週間でどこまで磨かれるのか楽しみです。

音楽会について

音楽会委員長 笠原 盟子



十一月十七日、十八日に、校内音楽会を開催いたします。一学期、配られた楽譜を手にした子供たちは、期待を胸にこの日のことを思い浮かべ、練習をスタートさせました。

夏休み中は、親子で練習に励んだご家庭も多かったことと思います。二学期中旬には、それぞれのパートや楽器も決まり、学年合同練習も始まりました。休み時間にも、音楽室や各教室から絶え間なく音楽が聞こえてきます。友達同士で声をかけ合って練習を始め、教え合っている姿が何とも微笑ましいです。音楽が得意な子も、そうでない子も、目標に向かって気持ちがひとつになります。その気持ちや一人一人の努力が相まって、一つの素晴らしい作品が生み出されるのです。音楽会当日は、音楽の美しさはもちろん、そこにたどり着くまでの子供たちの努力や気持ちにも、耳を傾け聴いていただけると嬉しいです。

学年全員で力を合わせた音楽会の

経験がよい思い出となり、子供たちの自信となるよう願っております。



ふれあい(いじめ防止強化) 月間

生活指導主任 花井 拓也

今年度もいじめによる悲しいニュースを、新聞やテレビで見聞きします。子供たちの生活環境は、大人よりも限定されています。だからこそ、その中でも大部分を占める学校生活は、子供たちにとって安全、安心であり、居心地のよいものでなければなりません。

港区の学校では、年三回、ふれあい(いじめ防止強化)月間を設定しています。十一月は今年度二度目となるふれあい月間です。ねらいは、次の二点です。

- ① 児童一人一人が自ら進んで、友達や他学年の児童に対して思いやりのある言動がとれるようになること
- ② 学級・学年・学校の一員としての自覚を高め、健全で豊かな心を育むこと

今回も、各学級でふれあい標語を考え、全校朝会で発表します。標語作成の活動を通して、思いやりの心や豊かな心について考えさせます。アンケート調査も前回と同様に行い、悩みなどがある場合には、自分が話したい先生を選び、話を聞いてもらうことができるようにします。

様々な取組を通して、児童がよりよい学校生活を送ることができるよう見守ってまいります。